

▼今月の『ポピー』の国語で学習するおもな内容と大切なことがらです。

📖の数字は、教科書のページ数です。

2年 かさこじぞう

📖 46～62



民話の語り口調を
味わおう。

- 地蔵様に笠をかぶせてあげた、じいさま夫婦の物語です。
- 各場面ごとに、じいさまやばあさまの様子や気持ちを読み取ります。
- 貧しい暮らしのじいさま夫婦。
- 笠を売りに行くじいさま。
- 吹雪の中の六人の地蔵様に、笠と手ぬぐいをかぶせるじいさま。
- じいさまを優しく迎えるばあさま。
- お礼にくる地蔵様。



1年 おとうとねずみ チロ

📖 69～82

- きょうだい三匹で暮らしているねずみのチロの物語です。
- 1 おばあちゃんから、「チョッキを編んでいる」という手紙が届く。でも、兄さんねずみと姉さんねずみから、チロの分はないと言われ、心配になる。
- 2 チロがおばあちゃんに、「ぼくにもチョッキを編んでね。」と呼びかける。
- 3 おばあちゃんから小包が届く。
- 場面ごとのチロの様子や気持ちを想像します。



4年 数え方を生みだそう

📖 78～90

- 日本語のものの数え方について書かれた説明文です。
- 筆者の意見を読み取り、自分の考えを深めます。
- 【日本語の数え方】
数だけでなく、後ろに「本」「台」などの言葉を付けて、どんな物であるかを相手に伝える。
- 【アメリカで日本語を学ぶ小学生たち】
一人一人が新しい数え方を生み出した。
- ←
● 日本語の正しい数え方を身につけるとは大切だが、言葉の柔軟さに目を向けることも大切。
- あなたも新しい数え方を考えてみよう。

3年 いろいろなつたえ方

📖 60～63

- 文字や音声を使わないで物事を伝える・表す方法について学習します。
- 【手話と点字】
● 手話…手や指、顔や体の動きなどを使って、身ぶりや手ぶりで伝える言葉。
- 点字…盛り上がった小さな点で作られた文字。指で触って読み取る。
- 【色や形などを使ったつたえ方】
● ピクトグラム…色や絵、記号などを使って、見て意味が伝わるように工夫された絵文字。
- 【記号によるつたえ方】
● 句点(。)や読点(、)などの記号…文章を書く時に使う記号。疑問符(?)や感嘆符(!)、「―」や「……」もある。

6年 海のいのち

📖 186～200

瀬の主と太一が対決する
場面は、すぐドキドキしたよ。



- 海で死んだ父のあとをついで漁師になった太一の、成長の物語です。
- 1 瀬の主との戦いに敗れた父。
- 2 太一が弟子入りしたと吉じいさが教えてくれる。
- 「千びきいるうち一びきをつれば、ずっとこの海で生きていけるよ。」
- 3 何年かのち、与吉じいさも海に返ったある日、太一はついに瀬の主と会う。
- 4 太一には、大魚はこの海のいのちだと思えた。

5年 いにしえの人のえがく世界

📖 210～213

- 清少納言の「枕草子」書き出しの部分を音読し、筆者の感じ方や考え方を自分と比べてみます。
- 春はあけぼの。
やうやう白くなりゆく山際、少し明かりて、紫だちたる雲の細くたなびきたる。
- 夏は夜。
月のころはさらなり、やみもなほ、ほたるの多く飛びちがひたる。…
- 春は明け方。だんだんと白んでいく山のすぐ上の空が、少し明るくなって、紫がかった雲が細くたなびいている様子。
- 夏は夜。月が出ていればもちろんよい。やみ夜でも、ほたるがたくさん飛びかっている様子。…